

## 文章を読む7

ここまでの復習です。なお使用した資料は「御預米置場蔵拝借金願書」(県立中央図書館蔵「静岡市史編さん資料」 歴史文化情報センター請求番号 01023-2-4)です。

也  
 忍  
 忍  
 書  
 付  
 奉  
 願  
 上  
 候

一  
 門  
 家  
 様  
 以  
 門  
 家  
 名  
 相  
 傳  
 仕  
 買  
 加  
 之  
 極  
 難  
 有

仕  
 合  
 甚  
 事  
 然  
 然  
 及  
 前  
 支  
 事  
 申  
 上  
 之  
 通  
 致  
 燒  
 後

引  
 續  
 法  
 之  
 事  
 由  
 事  
 以  
 而  
 兼  
 難  
 致

至  
 極  
 仕  
 事  
 日  
 以  
 時  
 祈  
 柄  
 未  
 矣  
 事  
 願  
 上  
 候  
 也

為  
 九  
 十  
 年

沖  
 美  
 惣  
 一  
 以  
 目  
 右  
 門  
 家  
 金  
 場  
 法  
 之  
 尊  
 合

文の大意は、「御家様」のお陰で家名が相続でき、ありがとございます。類焼後、諸物価が高いので、諸事行き届かず  
 各々大変難儀していますので、時節柄も弁えずお願いするのも恐れ入りますが、なにとぞ御米入置場の手当金について、(先  
 番の方のようにお聞き入れくださいますようお願い申し上げます。) という意味です。( ) 内は次回以降の分です。